

湖南の女性部会「子ども食堂」

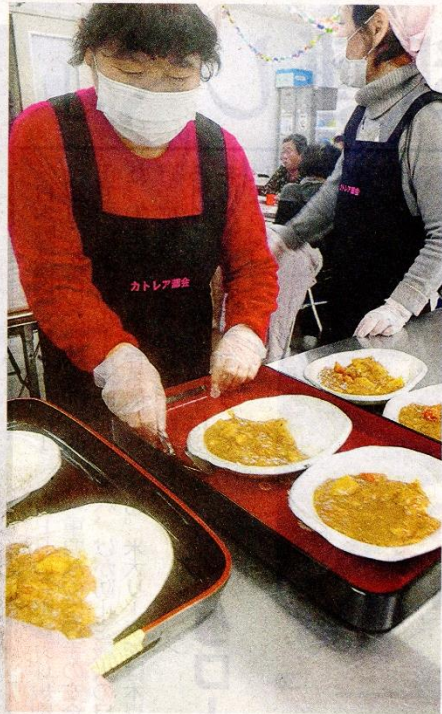
月末土曜はカレーの日

地域の子どもやお年寄りが、同じ場所で一緒になって食事を楽しんでもらうと、湖南市の石部南学区まじゅうり協議会の女性グループ・カトレア部会が一月末、「にぎわい広場カトレア 子ども食堂」を初めて開いた。今後、毎月末の土曜日の昼に開催するとい

う。
 (小川直人)

子どもの偏食や孤食、独り暮らしの高齢者の孤立が社会問題化していることを知り、県内の福祉団体でつくる「滋賀の縁創造実践センター」の支援事業として、子ども食堂を実施することにしたと

メニューは子どもの好きなカレーで、大人は好きた。カレーは部会のメンバーが調理している。石部南まじゅうりセンター調理・研は無料。カレー皿は子ども食堂のために地域の福祉施設に作ってもらった。お米も地域からのと来訪。一時間余りで目標の百食を超える



カレーを用意するカトレア部会のメンバーら＝湖南市石部南で

お年寄りにも利用呼び掛け

来た児童は「父親に行ってみたらと言われて来た。おいしかった」と笑顔を見せた。友人と来た近くの樋口秀志さん(60)は「老人会のチラシで知った。たくさんの人と食べる機会は少ないので楽しい」と話していた。

子どもや高齢者の孤立といっても、地域の実態はつかみにくいのが現実。食堂事業の代表者の山元照代さん(60)は「多くの人に利用してもらい、月末の土曜日はカレーの日と認識してもらえたらいいと思う。不安だったが、予想以上に来てくれて良かった」とホッとした様子だった。

実践センター事務局によると、センターの支援で子ども食堂を運営しているのは、県内で十一カ所という。